

16 自動洗浄 - iCareSystem (洗剤の備蓄)



iCareSystemは、iCombi Proのインテリジェントな洗浄・水垢除去システムです。ユニットの現在の汚れの状態を認識し、最善の洗浄プログラムとケア用品の最適量を提案します。



16.1 一般的な安全注意

- 自動洗浄には、メーカーが推奨する固形洗剤のみ使用してください。
- 非常時オーバーフローにはホースを接続しないでください。

熱傷や火傷を回避するために。

- 自動洗浄を開始する前に、ユニットとすべての機能部品を冷却してください。

重度の火傷を避けるために

- クリーニングアイテムは、肌の重篤な化学火傷、眼の重篤な損傷を引き起こす原因となります。ユニットを洗浄するときは、保護眼鏡と化学物質防護手袋をぴったりと着けてください。
- 自動洗浄中はユニットの扉を閉めたままにしてください。 そうしないと、腐食性のクリーニングアイテムと熱い蒸気が流出することがあります。 自動洗浄中にユニットの扉が開いていると、警告音が発せられます。
- 自動洗浄中は、芯温センサーをユニットに掛けないでください。 扉のパッキンが損傷し、腐食性のクリーニングアイテムが漏れてしまう可能性があります。
- 自動洗浄で外付け芯温センサーを洗浄しないでください。

クリーニングアイテムに触れたときの正しい対処方法

- 化学防護手袋を着用せずにクリーニングアイテムに触れた場合や、皮膚の他の領域がクリーニングアイテムに触れた場合には、流水で10分間皮膚を洗い流してください。
- クリーニングアイテムが目に入った場合は、流水で15分間洗い流してください。 コンタクトレンズを着けている場合は取り外してください。
- クリーニングアイテムを飲み込んだ場合は、水で口をすすぎ、すぐに水を0.5リットル飲んでください。嘔吐させないでください。
- すぐに毒物関連の緊急窓口または医師に連絡してください。

16.2 洗浄モード

軽度、中度、強度の各洗浄プログラムでは、次の2つの洗浄モードを利用できます。



エコモード

この洗浄モードを選択すると、各洗浄プログラム [▶ 103]で、ユニット洗浄のためのケア用品と水の使用量を節約できます。 この洗浄プログラムの所要時間は通常モードよりも長くなります。



通常モード

この洗浄モードを選択すると、各洗浄プログラム [▶ 103] で、ユニット洗浄のためのケア用品の使用量が多くなります。この洗浄プログラムの所要時間はエコモードよりも短くなります。

16.3 洗浄プログラム

以下の洗浄プログラムを利用できます。

プログラム	モード	説明	クリーニングアイテム
軽度	エコ/通常	200°Cまでの温度でユニットを使用して発生した軽い汚れと水垢を除去するのに適しています。	<ul style="list-style-type: none"> Active Green固形洗剤カートリッジ ケアカートリッジ
中度	エコ/通常	グリルやローストをおこなう調理パスで発生した汚れと水垢を除去するのに適しています。	<ul style="list-style-type: none"> Active Green固形洗剤カートリッジ ケアカートリッジ
強度	エコ/通常	グリルやローストをおこなう調理パスで発生した強い汚れと水垢を除去するのに適しています。	<ul style="list-style-type: none"> Active Green固形洗剤カートリッジ ケアカートリッジ
高速	—	強い汚れを短時間のうちに落とすための簡単洗浄に適しています。この洗浄プログラムは強制洗浄をリセットしません。	<ul style="list-style-type: none"> Active Green固形洗剤カートリッジ
洗剤を使用せずにすすぐ	—	水溶性の汚れを除去するのに適しています。この洗浄プログラムは強制洗浄をリセットしません。	—
すすぎ	—	ベイクやスチームなどの調理パスで発生する、水垢を含む汚れの除去に適しています。	<ul style="list-style-type: none"> ケアカートリッジ

既存の洗浄プログラムを個別に変更し、保存することができます。これらはエクスポートして他のユニットにインポートできます。



ヒント

ユニットに軟水器が接続されている場合、軟水器スイッチを「軟水」に設定してください。

16.4 洗浄、ケア、洗剤カートリッジの状態

iCareSystemはユニットの洗浄とケアの状態を自動的に認識します。

洗浄の状態

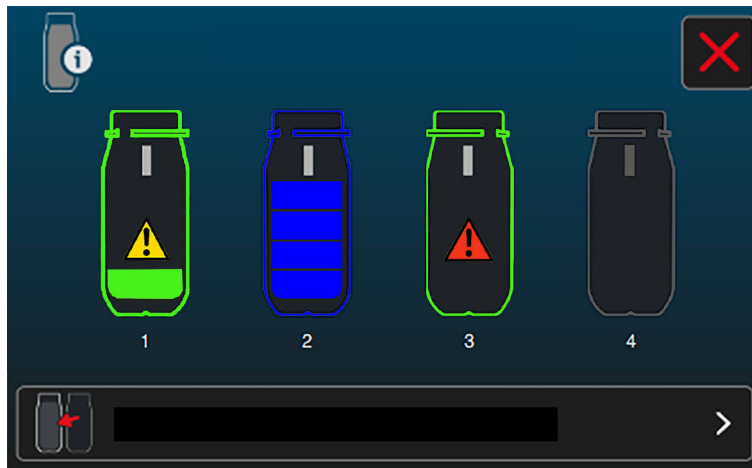
- インジケーターが緑の場合、ユニットは汚れていません。
- インジケーターが黄色の場合、ユニットは汚れています。ただし、洗浄のリクエストが出るまで、引き続きユニットで調理することができます。
- インジケーターが赤の場合、ユニットは非常に汚れています。すぐに、あるいは遅くとも次に洗浄リクエストが出たときに洗浄プログラムを開始してください。


ケアの状態

- ケアの状態が緑の場合、スチーム発生器に水垢は付着していません。
- インジケーターが黄色の場合、スチーム発生器に少し水垢が付着しています。
- インジケーターが赤の場合、スチーム発生器に水垢が強く付着しています。すぐに、あるいは遅くとも次回に洗浄のリクエストが出たときに洗浄プログラムを開始してください。

カートリッジの概要

洗剤カートリッジの状態を画像で確認できます。



- 各スロットと洗剤カートリッジの状態が表示されます。
- バーが4本点いている場合（スロット2を参照）、これは満杯の状態を示します。
- 洗剤カートリッジに黄色い警告マークが表示され、バーが1本点いている場合（スロット1）、これは洗剤カートリッジが25%しか満たされていないことを示します。
- 洗剤カートリッジに赤い警告マークが表示されている場合（スロット3）、これは洗剤カートリッジが空であることを示します。
- 洗剤カートリッジがグレーになっている場合（スロット4）、これはその箇所に洗剤カートリッジが挿入されていないことを示します。
- ボタンを押してください。  こうすることでカートリッジ交換（ガイド付き）にアクセスします。
- 表示される指示に従ってください。
- 洗剤カートリッジを交換した後に、満杯の洗剤カートリッジが装着されているかをディスプレイで確認してください。

16.5 洗剤カートリッジの交換

注意

化学火傷の危険！

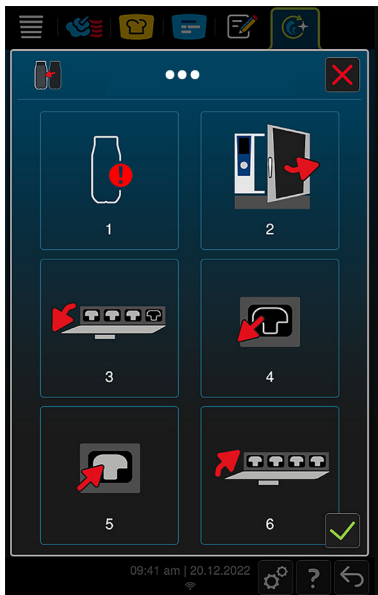
洗剤カートリッジを取り扱うときは、ぴったり合った保護眼鏡と洗剤保護手袋を着用して、しっかりと身体を保護してください。



注

洗剤カートリッジの取り扱い

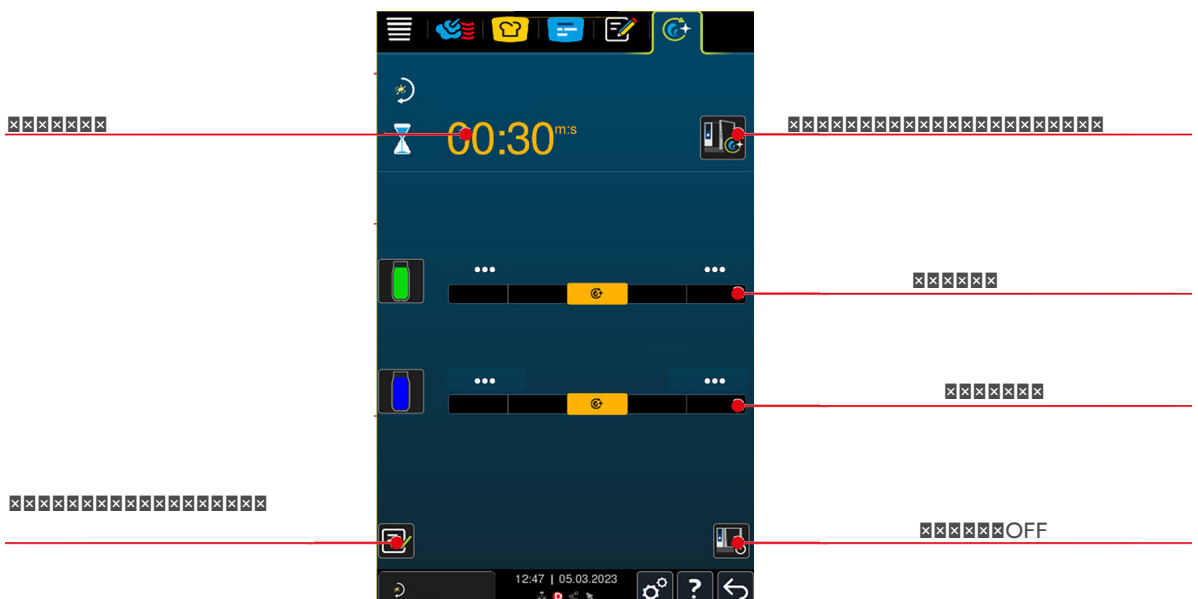
- 洗剤カートリッジを無作為に取り出したり、挿入したりしないでください！空のカートリッジのみ、満杯のものと交換してください。
- 欠陥のある洗剤カートリッジは使用しないでください！
- 空の洗剤カートリッジは、洗浄の最中でなくても、指示された場合にのみ交換してください。
- 洗剤カートリッジが落下した場合は、損傷がないか確認してください。

洗剤カートリッジの正しい取り扱いについてご質問の際は、RATIONALサービスパートナーまでお問い合わせください。




1. ボタンを押してください。 .
2. ユニット扉を開きます。
3. 洗浄ハッチを開きます。 **注！開いた洗浄ハッチの上には7kg以上ものを置かないでください！**。カートリッジのステータスが自動的に表示されます。
4. 空のカートリッジを、グリップ凹みを掴んで、スロットから引き出します。
5. Active Green洗剤カートリッジまたはケア洗剤カートリッジを開封して、キャップを取り外し、洗剤の備蓄スペースの空のスロットに入れてください。挿入する洗剤カートリッジの数は自分で決めることができますが、ケア洗剤カートリッジ2本とActive Green洗剤カートリッジ2本の使用が推奨されます。
6. 新しい洗剤カートリッジを装着したかどうか尋ねられます。
7. 洗浄ハッチを閉じます。
8. 以下を押して 、満杯状態の洗剤カートリッジを挿入したことを確認してください。
9. ユニットの扉を閉めてください。

16.6 自動洗浄のスタート



- ✓ 庫内ラックが庫内に正しく設置されている。
- ✓ モービルオープンラックが庫内に正しく設置されている。
- ✓ オプションの統合型油脂排出システムがユニットに装備されている場合は、庫内から油脂受けトレイを取り外し、排出管を閉じます。

1. メニューバーで以下のボタンを押してください。 
 - > 庫内温度が75℃を超えると、以下の通知が表示されます。**庫内温度が高すぎます**
2. ご希望の洗浄プログラム [▶ 103]を選択してください
3. これで洗剤の量を調整し、洗浄後にユニットをオフにするよう選択し、プログラミングボタンで実行することが可能になります。
4. ユニット扉を開けてください。
5. 庫内からすべての容器とトレイを取り出します。
6. ユニットの扉を閉めてください。
7. クールダウン機能 [▶ 44]が起動し、庫内の温度が下げられます。
8. 自動洗浄がスタートします。
9. 自動洗浄が終了するとシグナル音が鳴ります。
10. 空のカートリッジは資源ごみとして処分してください。





ヒント

- 推奨量のActive Green固形洗剤を使用しても自動洗浄中に庫内で泡が発生する場合は、フォームスイッチをオンにするとよいでしょう。引き続き泡が発生する場合は、RATIONALサービスパートナーまでご連絡ください。

16.7 自動洗浄の中断

すべての自動洗浄プログラムはいつでも中断できます。

1. 以下のボタンを押したままにしてください。 
 - > 本当に洗浄を中断したいか尋ねられます。中断の時間が表示されます。
 2. ボタンを押してください。 
- >> 自動洗浄が中断されます。








ヒント

自動洗浄中に電源が落ちると、自動洗浄は中断されます。電源が回復すると、自動洗浄が続行されます。

16.8 稼働時間ごとの強制洗浄

強制洗浄を有効にすると、設定した時間後にユニットを洗浄するように求められます。洗浄が完了するまで、ユニットを再び使用することはできません。

1. ボタンを押してください。 
2. ボタンを押してください。  洗浄
3. ボタンを押してください。  稼働時間ごとの強制洗浄
4. 強制洗浄を有効にするには、以下のボタンを押してください。 **オン**
5. ユニットの洗浄がリクエストされるまでの時間を設定するには、以下のボタンを押してください。 **洗浄リクエストまでの時間** ここでは実際に経過した時間ではなく、稼働時間を設定することにご注意ください。
6. 目盛り上で1~24時間の値を選択してください。
7. リクエスト後に洗浄を先延ばしできる時間を設定するには、以下のボタンを押してください。 **強制洗浄の遅延時間**
8. 目盛り上で1~24時間の値を選択してください。
9. ボタンを押してください。 。これで、標準または独自の**洗浄プログラム**から選択できます。
10. ボタンを押してください。  こうすることで**自動の洗浄スタート**をオンまたはオフにします。
11.
 - >> 洗浄の実行が必要となるまでの稼働時間がフッターに表示されます。